



とともに生きるプログラム

障害のある当事者の方等から直接
お話がききたい……

バリアフリーについて
考えさせたい……

障害者スポーツを体験
させてみたい……

障害のある方の疑似体
験をさせたい……

【ともに生きるプログラム】

障害のある方たちに対して、優しい気持ちを持って接していくことの大切さだけでなく……
さらに一歩すすんで、地域に共に住む仲間「共生社会」の視点を児童生徒に伝えていきましょう

実施の流れ

- ① C4 t h の書庫にある申込用紙に必要事項を記載し、特別支援教育課までC4 t h で申し込みます
- ② 「ともに生きるプログラム」協力団体より学校に連絡があります
- ③ 内容と日程の調整を行います
- ④ 実施当日をむかえます
- ⑤ 事後アンケートに回答してください

事前・事後学習を計画的に実施することで体験プログラムがより充実します！

①～④の各団体のプログラム内容については、C4th 書庫＞特別支援教育課＞38 とともに生きるプログラム に資料がありますので、ご活用下さい。

- 「心のバリアフリー推進事業」とは異なる事業となります。
- 実施費用（講師謝礼金や交通費等）は必要ありません。

【協力団体・企画調整】

- ・仙台市社会福祉協議会（ボランティアセンター）
→当事者の講話と疑似体験等 …対象は小学校・中学校・高校
- ・仙台市障害者スポーツ協会
→障害者スポーツの体験（ボッチャ・シットینگバレーなどの主に屋内競技）
…対象は小学校・中学校・高校
- ・仙台市障害者福祉協会
→当事者の講話とボッチャ体験等…対象は小学校・中学校・高校
- ・仙台市健康福祉局障害企画課【となりのココロ】
→資料に基づいた当事者の講話とグループワークによる授業
…対象は小学校（4年生以上）・中学校

【問い合わせ】

特別支援教育課
担当 指導主事 佐々木
電話 214-8879